

SDGsの概要について

■SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。

SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、本県、国も積極的に取り組んでいます。

日本の企業、NPO等の団体もSDGsの目標の達成を掲げて、様々な取組を実践しています。



■神奈川県ライトセンターとの関わり

神奈川県ライトセンターは、無料で点字刊行物等を視覚障がい者の利用に供し、及び視覚障がい者に対して各種の指導、訓練、スポーツ活動の振興等を行い、並びに視覚障がい者に対する社会奉仕活動を行おうとする者に対してその活動のための便宜を供与し、もって視覚障がい者の生活の充実及び文化の向上並びに視覚障がい者に対する社会奉仕活動の振興を図ることを目的に設置された施設であり、SDGsの目標3（保健）、目標4（教育）、目標10（不平等）及び目標17（実施手段）と関わっています。

■参考

外務省が、企業・団体等の取組事例を紹介しておりますので、そちらもご参照ください。
 〈外務省 HP：<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/case/index.html>〉